

大阪都市計画都市高速鉄道
なにわ筋線に係る
環境影響評価書

要 約 書

令和2年1月

大 阪 市

なにわ筋線について

大阪都市計画都市高速鉄道なにわ筋線は、(仮称)北梅田駅(2023年春開業目標)と、JR難波駅及び南海本線の新今宮駅をつなぐ新たな鉄道路線です。

大阪都心部を南北に縦貫する都市鉄道として整備し、既存の鉄道路線(JR線、南海線)と接続させることにより、

- 鉄道ネットワークの強化
- 関西国際空港 や 新幹線新大阪駅へのアクセス改善
- 新大阪、大阪・梅田、中之島、難波、新今宮、天王寺、
関西国際空港をつなぐ新たな軸の形成
- 沿線拠点開発の促進による都市活動の強化及び交流拠点の形成等、大阪の国際競争力強化、ひいては関西の活性化に資する、
新たな鉄道建設事業です。



※北梅田、中之島、西本町、南海新難波の駅名は仮称です

事業計画の概要

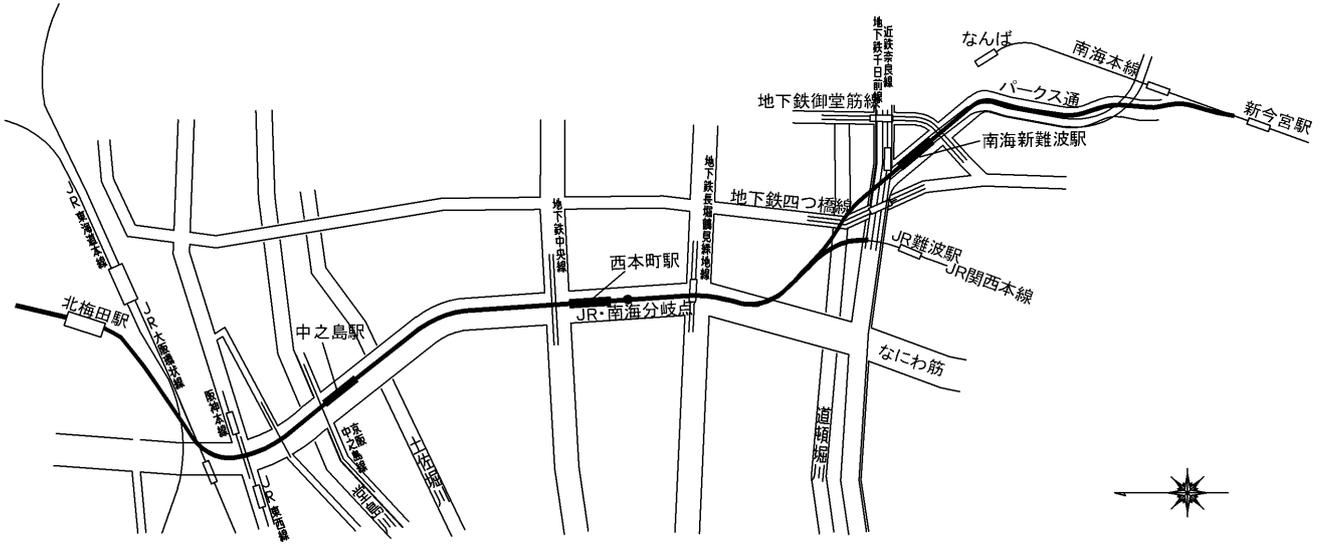
なにわ筋線は、大阪市北区大深町((仮称)北梅田駅付近)を起点に、地下構造でなにわ筋に向けて南西に進み、J R大阪環状線福島駅付近でなにわ筋の地下に入ります。その後、地下構造のまま、なにわ筋を南下し、中央大通の南で分岐し、2方面に分かれて、J R難波駅と南海新今宮駅にそれぞれ接続します。J R難波駅へはそのまま地下構造で接続し、南海新今宮駅へはパークス通の大阪市浪速区敷津東3丁目付近で地上に移行し、高架構造で南海本線へ合流する計画となっています。

新設の駅は3駅であり、堂島川と土佐堀川に挟まれた位置に(仮称)中之島駅、なにわ筋と中央大通の交差点付近に(仮称)西本町駅、なんばのまちの中心地に(仮称)南海新難波駅を設置する計画です。

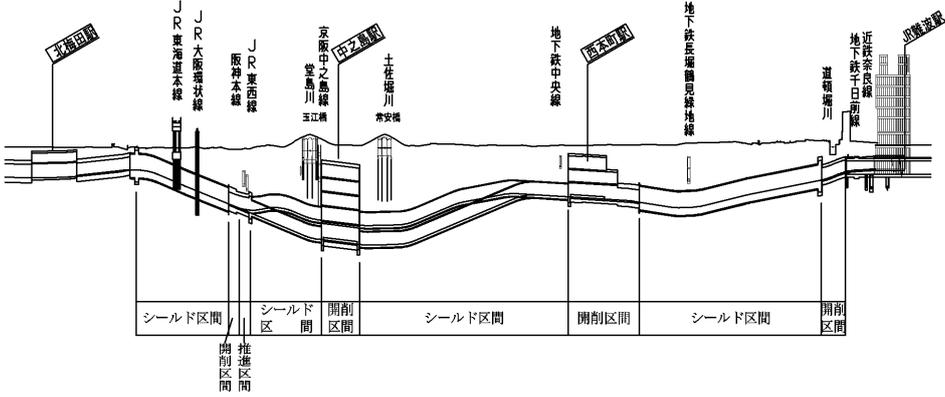
事業計画の概要

区間	路線区間 (起点～終点)		○共同営業区間：(仮称)北梅田駅～(仮称)西本町駅 (大阪市北区大深町～西区阿波座) ○J R 営業区間：(仮称)西本町駅～J R 難波駅 (大阪市西区阿波座～浪速区湊町) ○南海営業区間：(仮称)西本町駅～南海新今宮駅 (大阪市西区阿波座～浪速区戎本町)
	建設延長		複線約 7.2 km
施設 整備 計画	規格	軌間 電気方式	1,067 mm 直流 1,500 V (架空線方式)
	駅計画		(仮称)中之島駅、(仮称)西本町駅、(仮称)南海新難波駅
	運転計画 (開業時)	編成車両数	6両、8両、9両編成
		運転本数 列車種別 走行速度	560本/日(最大想定) J R (特急系統、普通系統)、南海(優等列車、普通列車) 最高速度 110km/h
線路構造形式		複線 地下式約 6.5 km 掘割式約 0.3 km 嵩上式約 0.4 km	
事業 計画	事業スキーム		地下高速鉄道整備事業費補助による上下分離方式
	整備主体		関西高速鉄道株式会社
	営業主体		西日本旅客鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社
	輸送需要		約 24 万人/日
	工事期間		2019 年度から 2031 年度
	供用開始(開業目標)		2031 年春

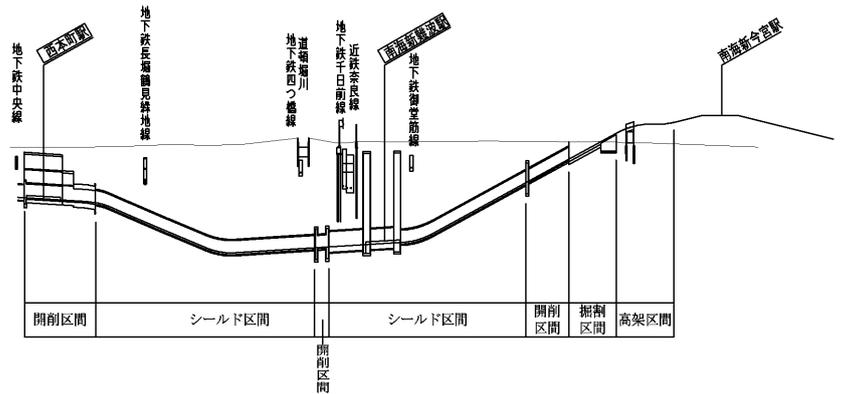
<計画平面図>



<計画縦断面図(北梅田駅～西本町駅～J R難波駅)>



<計画縦断面図(西本町駅～南海新今宮駅)>



(注)北梅田駅、中之島駅、西本町駅、南海新難波駅は仮称。

なにわ筋線の路線計画(計画平面図・計画縦断面図)